

豊岡演劇祭2025 Toyooka Theater Festival

7/25(金)より豊岡演劇祭2025の
チケット発売開始!

9/11(木)～9/23(火・祝)に開催の「豊岡演劇祭2025」。期間中は、但馬地域全域で国内外から80を超える団体がプログラムを上演します。豊岡演劇祭では、お客様の多様なニーズに応えるパスポートや割引・制度をご準備しております。

《問合せ》観光政策課 ☎21-9016

券種	価格	どんなチケット？
うずまくパス	¥12,000-	公式プログラム(一部演目を除く)が一律¥1,000に! 対象のフリンジプログラム演目も無料で観劇できます。演目をたくさん観て、演劇祭を満喫したい方におすすめ!
応援チケット	¥120,000-	たくさん観劇しながら、豊岡演劇祭を支えてくださる方に向けたチケット※1。購入者ご本人様と、各公演同行者1名様までご招待※2! その他特典も有り! ※1 売上の一部を、若い世代の人たちのチケット割引支援にあてさせていただきます。 ※2 一部演目を除く

各演目ごとの単券購入も可能です! チケットはフェスティバルセンター(電話・窓口)とオンラインで購入いただけます。
▶フェスティバルセンター(大手町1-29) ☎34-9525 営業時間 12:00～18:00 定休日 7/25～9/10 までの水・木

POINT **お得な制度、たくさんあります!**

- ① 18歳以下のお客さまは無料! ※1
- ② 25歳以下・学生・障害者の方は一般料金から¥500 割引! ※1
- ③ 19歳～25歳の方は、公演当日残席がある場合無料! ※2
- ④ みらい応援制度※3の利用で、子どもも同伴者も無料に!

※1 一部演目を除く・要申込・当日の証明書提示必要 | ※2 公式プログラムのみ対象・一部対象外演目あり・当日要証明書提示 | ※3 対象:豊岡市内の児童扶養手当受給世帯

詳細はこちら
See here for details!

開催プログラムやチケット料金などの詳細については、二次元コードから豊岡演劇祭公式WEBサイトをご確認ください。



あなたの作品を応募してみませんか

豊岡市美術展の作品を募集

▶作品搬入

【一般、高校の部】

▷日時 10月17日(金)・18日(土)

午前9時～午後7時

▷場所 市立総合体育館

▷出品料 一般の部 1,650円(30歳未満は無料)

▶公募要項配布場所

文化・スポーツ振興課、各振興局窓口、各地区コミュニティセンター、図書館本館、市民会館など

▶審査員

▷絵画・図画 熱田 守さん(日本画家)、内藤絹子さん(現代美術作家)

▷書道・習字 佐々木宏遠さん(日展会員)

▷写真 時本景亮さん(写真家)

▷彫刻・工芸 安藤由佳子さん(京都市立芸術大学教授)、上田順平さん(京都市立芸術大学准教授)

《問合せ》文化・スポーツ振興課 ☎23-1160

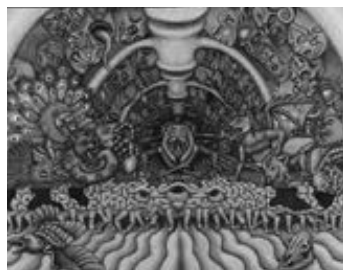
第76回豊岡市美術展

▶会期 10月30日(木)～11月3日(月・祝)

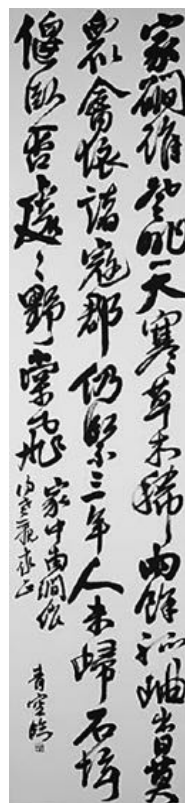
▶会場 市立総合体育館

▶応募部門 ▷一般・高校の部: 絵画、書道、写真、彫刻・工芸▷児童・生徒の部: 図画、習字

▶応募範囲 ▷一般・高校の部: 制限なし▷児童・生徒の部: 但馬内の幼児[5歳児(年長児)に限る]、小学校、中学校および教室に在籍する児童・生徒



▲昨年の高校の部(絵画)市長賞受賞作「最後の葛藤」才木彪ノ介さん(八鹿高校)



◀昨年の高校の部(書道)市長賞受賞作「臨王鐸家中南潤作」浮田青空さん(近大附属豊岡高校)

第62回企画展「北但大震災100年—まちに刻まれた記憶—」

7月18日(金)～11月25日(火)

午前9時～午後5時

(入館は午後4時30分まで 水曜日休館)

入館料 一般500円 学生300円

小中学生250円

(ココロカード提示で無料)

1925(大正14)年5月23日に起こった北但馬地震は、豊岡と城崎を中心に甚大な被害をもたらしました。復興は町ごとに行われ、その方針の違いが現在の各町並みの特色となっています。北但大震災から100年を迎えた2025年、震災から立ち上がった当時の豊岡を振り返り、現在の町並みや文化の礎となったものがどのようなものか学びませんか。

《問合せ》歴史博物館-但馬国府・国分寺館-

☎42-6111

関連イベント

ミニ企画展(無料)

- ▶会期 7月18日(金)～11月25日(火)
- ▶場所 歴史博物館 総合学習室
- ▶内容 一般社団法人 マチノイトによる展示

展示解説(無料)

- ▶解説者 学芸員
- ▶日時 8月2日(土)午前10時～、午後2時～
- ▶場所 歴史博物館 企画展示室

講演会・まち歩きイベント (まち歩き保険料200円)

- ▶内容 講演と復興建築群などの見学
 - ▶日時 10月25日(土)午後1時30分～4時30分
 - ▶集合場所 まちの基地アンテナ(中央町1-4)
 - ▶講師 ハミルトン壘さん(一般社団法人マチノイト)
 - ▶定員 先着20人
 - ▶予約 10月17日(金)午後4時まで
にホームページから申込み
- ※アクセスできない方のみ電話受付可



unesco

Global Geopark

みんなのジオパーク第12回

山陰海岸ジオパークエリアの地震について

山陰海岸ジオパークエリアでは、今年で100年を迎えた北但馬地震(大正14年・M6.8)や来年度末で100年を迎える北丹後地震(昭和2年・M7.3)、鳥取地震(昭和18年・M7.2)などの大きな地震が起きています。

北丹後地震でずれた郷村断層の代表的な露頭3か所は、国の天然記念物として保護され、いずれも見学することができます。郷村断層は、日本で初めて活断層という用語が使用されたことでも知られています。また、鳥取市鹿野町では、鳥取地震の影響で曲がった水路が県の天然記念物として保存されているほか、城崎温泉の温泉街を流れる大谿川沿いの石垣には、北但馬地震で崩落した玄武洞の玄武岩が使用されています。

山陰海岸ジオパークのホームページ▶



ぜひ一度現地で実物を見て、防災について考えるとともに、大地の壮大さを実感してみたいかがでしょうか。



▲大谿川の護岸

《問合せ》

山陰海岸ジオパーク推進協議会

☎26-3783

